

## アクセスログの役割(その 9)

1982 年度卒(部) 坂代

OB 会登録会員の皆様 (2016 年 9 月 3 日土曜日)

毎週のように台風が襲ってきて大きな被害も出ています。

被害はございませんでしょうか。

いよいよ六十周年記念式典(9/11)が近づいてきました。

やはり住所がわからずご案内が届いていない方がいらっしゃるようです。

近い世代の OB・OG の方々にも改めてお誘いをお願いいたします。

欠席のお返事を頂いた方々も予定が変更になりましたら当日飛び入り参加も大歓迎です。

件名のご報告をします。

・2016 年 8 月 861 件

検索文字列でヒットは今月はお休みいたします。

追伸:引き続き 60 年前の創部の年, 1956 年の出来事をご紹介します。

今月は 10 月です。

東京開都 500 年 大東京祭開催 東京都の人口 825 万人, 国民総所得 6 兆 7948 億円

メルボルンオリンピック選手団の結団式(開催 1 か月前)

IOC 総会へオリンピック招致に東京都から代表派遣

放送関係では

NHK が色彩テレビの実験放送

テレビ放送開始 3 年余りで 受像機 25 万台普及

テレビ局開局申請(東京都)東京テレビジョン, ニッポン放送, 文化放送, 国際テレビ, 日本教育放送

国鉄ダイヤ改正に合わせ 東海道線 大阪-米原間が電化完了。

この事により東海道線全線が電化完了。東京-大阪 特急で 7 時間 30 分。

そこで特急・急行の名前を拾ってみました。

東海道, 山陽線

特急	東京-大阪	さくら, つばめ, はと
	東京-博多	かもめ
急行	東京-大阪	なにわ, 明星, 彗星, 月光
	東京-熊本	阿蘇
	東京-佐世保	西海
	東京-西鹿児島	高千穂
	東京-鹿児島	霧島, さつま
	東京-長崎	雲仙



特急「さくら」:以下 URL より引用

[http://photozou.jp/photo/show/1186037/  
108932463](http://photozou.jp/photo/show/1186037/108932463)

東京-博多	筑紫
東京-鳥羽	伊勢
東京-広島	安芸
東京-神戸	銀河
東京-宇野	瀬戸
東京-大社	出雲
東京-湊町	大和
京都-熊本	天草
京都-長崎	玄海

上越・北陸線

急行	上野-新潟	佐渡, 越路
	上野=福井	北陸
	上野-金沢	白山
	大阪-青森	日本海
	大阪-富山	立山
準急	大阪-金沢	ゆのくに
	上野-長野	白樺

中央線

準急	新宿-松本	穂高, 白馬, アルプス
----	-------	--------------

東北線

急行	上野-青森	津軽, みちのく, 北上, 十和田, 北斗, おいらせ
	上野-秋田	羽黒, 鳥海
	上野-盛岡	いわて
	上野-仙台	青葉, 松島

北海道

急行	函館-旭川	大雪, アカシア
	函館=釧路	まりも
	函館=札幌	すずらん
準急	札幌-室蘭	エルム

皆さんの思い出の名前は有ったでしょうか？  
 帰省・上京に使った。音を録った。どんな車両だった。  
 人に言えない程いい思い出が有った。  
 ここには名前が挙がっていない列車の思い出。  
 投稿してください。



急行「大雪」:以下の URL より引用  
<https://www.youtube.com/watch?v=zrQIZAerbWg>

(出典:毎日新聞縮刷版 1956 年 10 月。日本経済新聞縮刷版 10 月)

1982 年度卒(部) 坂代



こんな問いかけに早速反応がありました。

毎月 の報告ご苦労様です (2016年9月6日火曜日)

楽しみに読ませて戴いています

思いでの投稿とのことで 古いアルバムを見ながら一筆

1960年(昭和35)8月4日～21日までの山口県の安岡海水浴・別府・宮崎・高千穂峰・国分・鹿児島・熊本・雲仙。長崎・太宰府・博多 九州一周の一人旅をしました。と言っても

小倉の叔父 八幡の柴崎君(訪問のみ・故人) 鹿児島山形君(放研部員) 雲仙の林先輩(3期の放研委員長・故人)宅に泊めてもらい ほかは殆ど夜行列車の無銭旅行でした。

往復とも東京⇄博多は 急行筑紫で 岡山までは電気機関車 その先は蒸気機関車牽引で当然冷房車ではありませので博多に着いたときには煤と汗で顔は汚れたものでした。

当時主要駅のホームには蛇口が5～6個ついた洗面所ありそこを利用したものです。

(品川駅の洗面所は大分後まで残っていたのを記憶しています)

九州入りは21時30分東京発 小倉には翌日の18時56分着 21時間半の長旅で夏期休暇で帰省する林先輩・柴崎君(両名とは小倉で一時的別れる)・松田君(放研OB・広島で下車)と同行でした。

途中お世話になった山形君の実家は国分の錦江湾に道路隔てたすぐのところと和船もあり 彼の妹さん(大分年が離れており当時小学校低学年だったと記憶)ともに桜島をバックに海水浴をさせて戴きました

林先輩の実家は雲仙で しょうろう(精霊)流しが当時も有名でしたのでそれに合わせたお世話になりました 有明海に麦を束ねた船の上に組まれた竹に新盆の提灯を飾り付け、暗くなって若衆が沖合に送り出すのを間近に見たの感激でした。 翌日 流れ着いた麦船に乗って海水浴をしたところ傷だらけになり海水がしみわたった懐かしい思い出です。

帰りは博多から 筑紫で東京まで帰りましたが往復とも座席予約はなく大変混み合っており早くから関取に並びましたが席にあぶれたものは通路で長時間過ごすことになったのです。

座っていることも大変ですがたっている人も忍耐強かったことです。

林先輩・柴崎君楽しい思い出有り難う

急行筑紫の思い出まで

昭和37年卒 佐藤 誠

佐藤 誠 先輩 会員の皆様 (2016年9月6日火曜日)

坂代会長の定期報告への返信ありがとうございます。

林先輩, 柴崎先輩, 山形先輩, そして松田先輩と懐かしい諸先輩のお名前が出てきてあの頃の事を懐かしく思い出しました。

私は大阪が帰省先でしたので、夜行列車の特に寝台急行や特急の利用は、学生時代を含め縁が少なく数えるほどだったように思います。

東京←→大阪の往来は、新幹線の開通する前は、特急列車の「つばめ」「はと」で、なかなか特急券が取れない時代だったことを思い出します。

社会人になっても、出張で寝台列車を利用することは稀で、長距離(東京→九州)はめったになく多忙な出張の途中移動のため、真夜中に、寝台急行の停車する人影の少ない暗い岡山駅や広島駅で降車したことを思い出します。

結婚してからは、妻の郷里の函館に帰省するために、妻と子供たちを、当時なかなか取れない飛行機で羽田から飛び立たせ、ようやく夏休みがとれた私が、上野発の夜行寝台特急で青森まで行き青函連絡船で早朝函館港に到着、やっと家族と再会という懐かしい思い出がありますが、どの夜行寝台だったのかは思い出せません。

唯一夜行列車で思い出するのは、高校の修学旅行(大阪の高校は九州旅行)の帰途(往路は大阪天保山から別府港まで瀬戸内海航路の船旅)、長崎駅から大阪駅までの途中、特別修学旅行列車が停車駅で止まるたびに「駅弁」を買って食べまくったことです。

およそ15～16時間の移動時間の間に、駅弁10食は食べまくったと思います。大阪駅に到着した時はかなりの体重になっていたのではないかと。おなかが張って苦しくて苦しくて、しばらくは駅弁を見るのもゴメンでした。

坂代君の定期報告と佐藤先輩の「思い出寄稿」に促され、懐かしい時間を思い出しご披露させていただきました。

この続きは、9月11日に霞が関の「校友会館」で、

1965年度文学部広報学科卒 木村 正義

坂代会長、会員の皆さん (2016年9月8日木曜日)

日頃は会の運営にご資力頂き、大変ありがとうございます。

また、アクセスログの報告、毎回、興味深く閲覧させていただいております。

佐藤先輩のお話には懐かしい先輩諸氏が登場してあの時代の景色が目の前に広がります。私は卒業後3年ほど米国製医療機器の販売商社に勤務してましたので日本全国の300床規模の病院を営業マンと一緒に回る仕事をしました。そのころは飛行機の移動は一般的ではなく坂代さんの書いた列車名だけでも「出雲」「霧島」「明星」「日本海」「青葉」「鳥海」「すずらん」「みちのく」「津軽」「北斗」「アカシア」等、セピア色の世界が広がります。

中でも思い出に残るのは弘前から秋田まで乗った「日本海」です。前日、青森から弘前(蒸気機関車)へ移動して弘前大学で仕事をしました。冬の時期で雪がかなり降ってました。弘前駅で弁当をなぜか2つ買ったのですが当時の判断は覚えていません。秋田に近づくにつれ窓からは何も見えない吹雪の中を走っていましたが立ち往生してしまいました。それから10時間を経て秋田駅に到着しました。弁当はボックス席の向かいに座ったお子様連れの方に1個差し上げました。

木村正義君の函館までの話は私も体験しています。列車名を思い出せませんが14:30上野発の特急で24時ごろ青森駅着、青函連絡船が函館に4時ごろ着いて私はその足で札幌着9時で・・・そのまま仕事に直行の経験が何度もあります。

1965年 工学部通信工学 小林 洋

.....